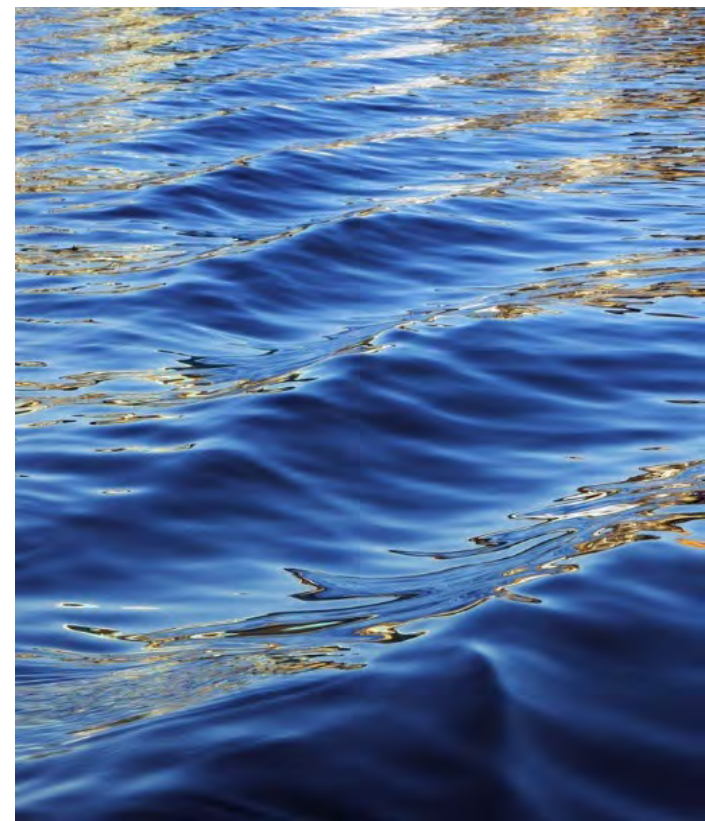




エコフラポット活動 の紹介

子供たちのSDGs活動への意識向上をめざして



エコフラポット活動を推進するワンチームとやま「花ぶらす木」のご紹介

（第3種郵便物認可）

北 日 本 新 聞

気軽に花を楽しんで

県内3女性 苗ポット考案



ガーデニング雑誌「フラポット」を手に持つ（右から）奥さん、竹下さん、米澤さん



6（629）13381。

3人は「花を通し、笑顔と幸せを届けたい」と力を込める。1個1320円。問い合わせはウェルビー、電話07

小スペースで寄せ植え

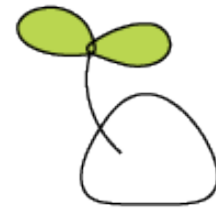
フラポット誕生は、「花・sou」（富山市）代表の奥育子さん（54）が昨夏開いたハングングバスケットの寄せ植え教室がきっかけだった。新型コロナウイルスの影響による収入減で参加できなかった人がいると知り、「費用を下げずにもっと手軽に楽しめる方法はないか」と考えた。友人であるプラスチック製品メーカー「ウェルビー」社長（高岡市）の竹下隆子さん（52）と、建設・木材加工業エコーウッド富山（社長（小矢部市）の米澤尚美さん53）に相談プロジェクトチーム「花ぶらす木」を結成し、小型ハ

ングングバスケットの商品化を進めた。奥さんのアイデアを基に、竹下さんがプラスチックでフラポットを製作。米澤さんは、県産スギの間伐材を使いフラポットを飾るスタンドを作った。フラポットは高さ22センチ、幅13・8センチ、奥行き9・8センチ。中央にスリットを入れ、花が見えるように1株ずつ土と交互に植えていく。3株を植え込むと完成。一般的なハングングバスケットは10株ほど使うとされるため、出費が抑えられ、難しい技術も必要ない。

地域ワイド

業種が異なる県内の女性経営者3人が得意分野を生かし、ガーデニング用の小型ハングングバスケット「フラポット」を考案した。従来の3分の1程度

の花苗と、わずかなスペースがあれば寄せ植えを楽しめる。3人は「簡単にできるので、たくさんの人に知ってほしい」と話している。（川崎那月）



花ぶらす木

花・SOU
ウェルビー株式会社
エコーウッド富山株式会社

2021年春、「いろいろな人に気軽に花を楽しんでほしい」という思いを実現するため、異業種の女性経営者3名で結成。リバイバル補助金（ワンチームとやま枠）を利用して新しいハングングバスケット容器「フラポット」を開発。

「エコで豊かな癒しのある暮らしを実現したい」という共通の思いを持ちながら、花を通して、笑顔と幸せを届けるために活動中。

エコフラポット活動とは

回収したペットボトルのふたをリサイクルし、原料ができるまでを学びながら、そこからできたお花の容器「エコフラポット」にお花を植えて育てる活動です。次の5つのステップから成り立っています。

ステップ① エコキャップ運動



ステップ② キャップのリサイクル



ステップ③ エコフラポットへの製品化

ステップ④ ワークショップ・花育

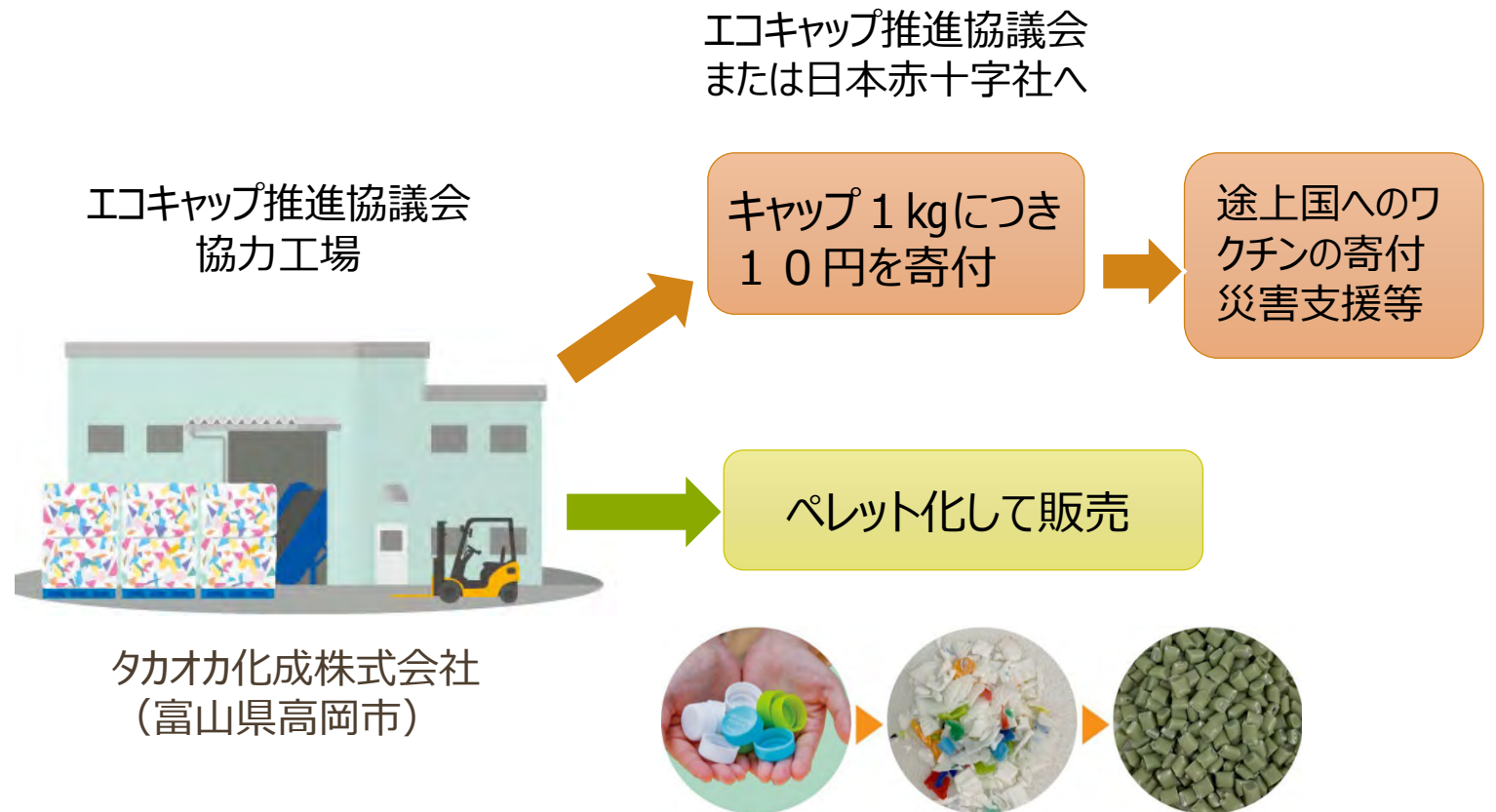


ステップ⑤ 植物のあるゆたかな暮らし



①エコキャップ運動

各地域の小学校、中学校、高校、企業、各種団体より寄贈していただいたペットボトルキャップを買い取ったものとしてエコキャップ推進協議会に寄付する活動です。



②キャップのリサイクル

③エコフラポットへの製品化

キャップ



粉碎



押出



ペレット



成型品



金属探知機で金属が混入していないかチェック



粉碎機に入れて細かく粉碎



熱で溶かして、ところてんのように小さな穴から押出す



細かく裁断してペレット化



成型機で商品の成型

リサイクル工場ではペレット化されて成型され商品へと生まれ変わります。

→キャップ約80個で1つのポットが完成！



④ワークショップ・花育

- 最初にスライドや動画でSDGsについて学びます。
- エコフラポットがどんな流れで出来上がるかを現物を見て学びます。
- 花の寄せ植えをして植物を育てることを学びます。

エコフラポットは掛けて・吊るして・置いていろいろな場所に飾れます。

1～3苗で完成！軽いので持ち運びもらくらく。コストもあまりかかりません。

お子様からお年寄りまで手軽に誰にでも楽しめる容器です。

容器は何度でもリサイクルできます。



- 植えたお花は自宅に持ち帰って大切に育てます。

活動例 1

- 2022年11月

富山市内の小学校4年生 総合の授業にて
「エコフラポットでSDGsを学ぼう」SDGsと花育のワークショップ
キャップの回収から花を植えるまで3ヶ月間の活動を通じてリ
サイクルの大切さを学びました。



活動例 2

• 2022年11月

滑川児童館にて

「エコフラポットでハンギングづくり～SDGsを学ぼう～」親子ワークショップ

SDGsって何？のスライドで学んだ後、親子で楽しくお花を植えました。



活動例 3

• 2023年3月

富山市のショッピングセンターにて日本財団「海と日本プロジェクトCHANGE FOR THE BLUE」イベントとして、海洋ごみについてスライドで学び、エコフラポットに花を植えました。当日はプラごみ（トレー、ペットボトル、キャップなど）の回収も行いました。



⑤植物のあるゆたかなくらし

植物を育てることで・・・

- ・花育 = 花を育てることでやさしい心が育ちます
毎日の水やり等のお世話が心を育てます。
- ・認知症予防・生きがいづくりになります。
植物を通じた人とのふれあいや育てること
の喜びを感じることができます。

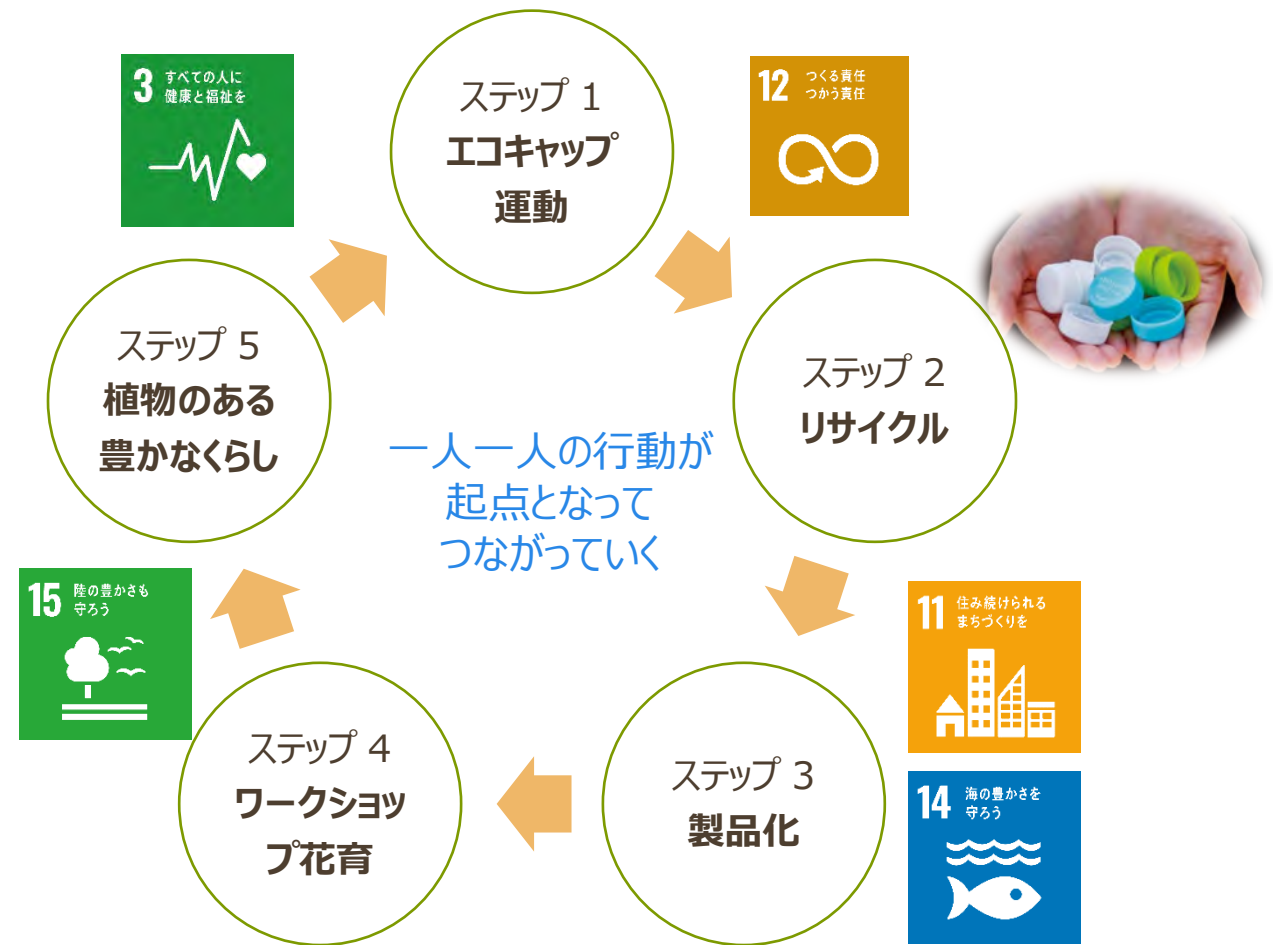


エコフラポット活動で実現できること



- エコキャップ運動の活性化
- リサイクルの推進
- サステナブル商品の製品化
- ワークショップによる花育
- 植物のある豊かなくらし

身近なこと・小さな行動が
起点となり、繋がっていき
持続可能な社会を作ります。



エコフラポット活動を通じて
未来へつながる持続可能な社会を作ります。

お問い合わせ先

花ぶらす木事務局
ウェルビー株式会社
竹下隆子
富山県高岡市佐加野434番地
TEL 0766-29-1331
Mail t.takeshita@wbt.co.jp

講師
花・SOU 奥育子
090-4324-9023
hanasou0403@gmail.com